

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 城南製作所							
代表者名	氏名	百鳥 保富		役職名	代表取締役社長			
主たる事務所の所在地	長野県上田市下丸子866番地7							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	3 1 輸送用機械器具製造業						
主たる事業の概要	自動車部品製造 (ドアウィンドレギュレーター 他) めっき製品の製造・加工							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外 (任意提出) の事業者						
原油換算エネルギー使用量	1956	k1	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	12	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

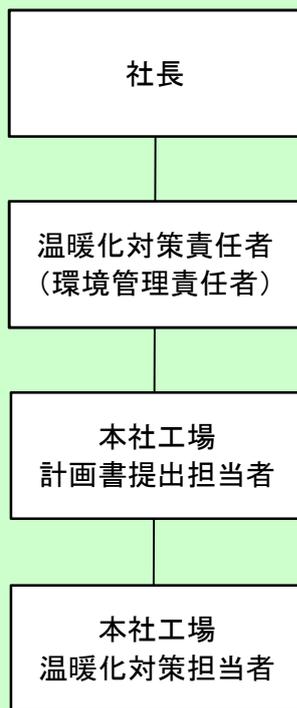
3 計画書 (報告書) の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.ihonan-seisakusho.co.jp/approach.html
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

- ① エネルギー使用に関する法律・条例等を順守するとともに、基準書の整備によるエネルギー使用効率向上に努める。
- ② 設備導入時には、省エネに有効なタイプの設備の導入を積極的に推進する。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	4,205	t-CO ₂	製品売上高	1,483	単位	千万円	
25年度	調整後排出量	3,279	t-CO ₂	基準原単位	2.84	t-CO ₂ /	千万円	
目標年度	目標排出量	4,079	t-CO ₂	目標原単位	2.75	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	3年間で3%の抑制目標の達成を目指します。 (但し、2014年度より弊社で推進中の生産ラインの自動化等による電力使用量増に伴う二酸化炭素排出量増加分は除外する。)						※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。	
第一年度	排出量	4,054	t-CO ₂	製品売上高	1,526.00	単位	千万円	
	調整後排出量	4,029	t-CO ₂	原単位	2.66	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
26年度	削減率	3.59	%	削減率	6.33	%		
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・エアリー漏れ改善 ・工程不良削減 ・LED照明採用 ・設備更新時に省エネタイプ導入 							
第二年度	排出量	3,765	t-CO ₂	製品売上高	1,451.00	単位	千万円	
	調整後排出量	3,748	t-CO ₂	原単位	2.59	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
27年度	削減率	10.46	%	削減率	8.80	%		
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・エアリー漏れ改善 ・工程不良削減 ・LED照明採用 ・設備更新時に省エネタイプ導入 							
第三年度	排出量	4,192	t-CO ₂	製品売上高	1,600.00	単位	千万円	
	調整後排出量	4,167	t-CO ₂	原単位	2.62	t-CO ₂ /	千万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	削減率	0.30	%	削減率	7.74	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・エアリー漏れ改善 ・工程不良削減 ・LED照明採用 ・設備更新時に省エネタイプ導入 							

対象外

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量	0	t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量	0	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
26年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

対象外

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
26年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	-	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	370799 電動応用設備に係る削減対策	26~28	6t以上	26	2
2	エネ起	380752 LED導入	26~28	9t以上	26	3
3	エネ起	380753 高輝度放電ランプ等の高いラン プの導入	26~28	30t以上	26	10
4	エネ起	330299 空気調和設備の更新	28	不明		0
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
導入実績・導入計画なし						

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	926		25	17	25
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,205	1	4,054	1	3,765	1	4,192
1,500k1未満								
合計	1	4,205	1	4,054	1	3,765	1	4,192

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車			1	1
電気自動車	2	2	1	1
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他				
合計	2	2	2	2
自動車総数	12	12	12	12
次世代車導入割合	16.7	16.7	16.7	16.7

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	未実施
その他	未実施

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	公共交通機関の整備がない為、実施不可。
公共交通機関の利用促進	公共交通機関の整備がない為、実施不可。
来客者の交通対策	該当せず
物流の合理化	共同物流を実施しております。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001:2004	2003年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	高効率照明器具の導入（工場棟の一部） 省エネ設備の導入（ハイブリッド式樹脂成形機を1台導入）
第一年度実績	高効率照明器具の導入（工場棟の一部） 省エネ設備の導入（ハイブリッド式樹脂成形機を1台導入）
第二年度実績	ワンウェイの木製パレットから樹脂製の循環するパレットに変更し、木材の廃却量を減らした。
第三年度実績	めっき廃液処理装置の変更（蒸発濃縮装置の導入）により廃液の廃却量を減らした。

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	高効率照明器具の導入、コンプレッサーのインバーター化、省エネ設備（樹脂成形機）の導入 他	未計測
その他		